

県内外のペタンク愛好者をつなぐ

彩の国ペタンク通信

第74号

編集 埼玉県ペタンク・ブール連盟
企画・編集 広報部(森)
連絡先 048-572-1885
Mail: petamori1885@gmail.com



令和3年度 定期総会 一般社団法人 埼玉県ペタンク・ブール連盟

令和3年5月9日、午後1時から熊谷市江南公民館会議室において、令和3年度一般社団法人埼玉県ペタンク・ブール連盟の定期総会が開催された。

会長あいさつ

一般社団法人
埼玉県ペタンク・ブール連盟
会長 井上勇司



コロナ渦中で目標を持ってない日々が続いておりますが、会員の皆様はいかがお過ごしでしょうか。私が会長になつて3年目を迎えております。今までやってきたことを振り返って

考えると、埼玉県ペタンク・ブール連盟は組織として充

分できたと思っております。私の考え方の基本にあるのは、

組織はみんなの為に有り、個人のものにならないように常にチェックが必要であり、みんなが目標を立てて発展させていくことが大事である。』ということなんです。今後の会長としての私の仕事としては、各行政機関とコンタクトをとり、ペタンクを通じて愛好者の健康増進と愛好者相互の良きコミュニケーションを作り出していけるような環境をつくる。』とどこかと考えております。その取り組みの節には、会員の皆様には色々ご協力をお願いするかもしれませんが、宜しくお願いいたします。

最後になりましたが、会員の皆様には新型コロナウイルスに感染しないようにご注意くださいながら健康でいつまでもペタンクを楽しんでください。



総会の参加状況は、出席者24名

委任状5名、欠席者5名であった。

一、議案として七号議案について承認され、新たに八号議案 県会員準備委員会設定についてが提案され承認された。

議事については下記のとおり

- 一、令和2年度事業報告
- 二、令和2年度決算報告
- 三、会計監査報告
- 四、役員改選
- 五、会長挨拶
- 六、令和3年度事業計画
- 七、令和3年度予算
- 八、県会員準備委員会設置



第33回 ねんりんピック岐阜 埼玉県予選会

令和3年5月17日、熊谷市さくら運動公園において、「第33回ねんりんピック岐阜2021」埼玉県予選会を開催し、川本チーム 清水秀央、中西明夫、清水恭子、今泉君子が1位となり念願の代表権を獲得した。



【埼玉県代表】川本チーム
▲左から、清水恭子、清水英央、中西明夫、今泉君子

第33回全国健康福祉祭ぎふ大会 ねんりんピック岐阜2021

清流に輝け ひろがれ 長寿の輪
2021年10月30日(土)~11月2日(火)

決勝戦では坂戸市の城山対深谷市の川本が対戦し、序盤からリードを奪った川本チームが終盤に追い上げを見せた城山チームを9対7で破り勝利した。

予選会には12チームが参加、予選リーグは4ブロックに分け、1ブロック4チームでリーグ戦をおこない、上位2チームが決勝トーナメントに進出した。



【2位】城山
▲左から、石川太津男、石川ひろ子、並木義彦

3位 今泉チーム
上條幸助、岩田幸雄、会田智恵
4位 さかろん
山名富喜、塩田邦彦、小池良子

第35回 日本パタノク選手権大会 埼玉県代表選考会

令和3年5月22日、23日深谷市川本公民館おまつり広場において、第35回日本パタノク選手権大会埼玉県代表選考会が開催された。

男子15チーム、女子10チームがエントリーし、男子は第一ステージで12チームに絞られ、更に第二ステージで6チームに絞られ、第三ステージでは6チームによる総当たりのリーグ戦の成績で順位を決定した。
女子は10チームによる総当たり戦



▲左から、太幡審判 高野審判 内田審判長



を2日間かけておこなった。初日は、薄曇りの天候で選手の方々は、最高のコンディションで戦うことができ、男女ともに熱戦が繰り広げられた。女子は1日目から全勝チームが無くなり5勝1敗で3チームが並ぶという大混戦になってきました。

候になり選手たちも暑さとの戦いも加わり体調との戦いとなった。最終成績は下記のとおり。

2日目は、時間が経つにつれて夏日のような天

【男女の最終成績】

第35回パタノク日本選手権大会埼玉県代表選考会
女子の部
令和3年5月22日、23日

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	勝	敗	得失点	順位
① 池田隊	1試合目 3-11	2試合目 10-11	3試合目 2-11	4試合目 2-11	5試合目 3-11	6試合目 6-11	7試合目 8-11	8試合目 4-11	9試合目 10-10	2-7	0	-1	10
② 大宮パインズ	1試合目 11-3	2試合目 10-11	3試合目 1-11	4試合目 5-11	5試合目 10-6	6試合目 10-11	7試合目 10-11	8試合目 8-11	9試合目 6-9	3-6	0	-1	8
③ 中央GM	1試合目 13-10	2試合目 11-10	3試合目 11-10	4試合目 5-11	5試合目 11-7	6試合目 6-11	7試合目 9-7	8試合目 3-11	9試合目 8-10	5-4	0	0	4
④ エース	1試合目 11-2	2試合目 11-1	3試合目 10-11	4試合目 0-11	5試合目 6-11	6試合目 11-4	7試合目 11-1	8試合目 11-9	9試合目 8-3	6-3	0	0	3
⑤ 川本中心	1試合目 11-3	2試合目 11-5	3試合目 11-5	4試合目 11-0	5試合目 11-9	6試合目 11-2	7試合目 4-8	8試合目 11-0	9試合目 6-4	8-1	0	0	1
⑥ 池田	1試合目 11-3	2試合目 9-10	3試合目 7-11	4試合目 11-6	5試合目 9-11	6試合目 9-10	7試合目 8-11	8試合目 11-7	9試合目 11-10	4-5	0	0	6
⑦ 片柳	1試合目 6-11	2試合目 11-10	3試合目 11-6	4試合目 6-10	5試合目 2-11	6試合目 11-9	7試合目 7-9	8試合目 11-1	9試合目 10-11	4-5	0	0	5
⑧ しまん	1試合目 11-8	2試合目 11-10	3試合目 7-9	4試合目 4-11	5試合目 9-4	6試合目 11-7	7試合目 11-10	8試合目 11-3	9試合目 7-2	7-2	0	0	2
⑨ 大宮パインズ	1試合目 11-4	2試合目 11-8	3試合目 1-11	4試合目 1-11	5試合目 0-11	6試合目 1-11	7試合目 1-11	8試合目 10-11	9試合目 9-10	3-6	0	0	7
⑩ 中央GM	1試合目 10-11	2試合目 9-11	3試合目 11-8	4試合目 9-11	5試合目 4-11	6試合目 10-11	7試合目 3-11	8試合目 11-9	9試合目 10-9	2-6	0	-1	9

選手権大会代表選考会
決勝グループリーグ表(男子)

チーム名	1	2	3	4	5	6	勝	敗	得失点	得失点差	順位
① チームAKK	1試合目	2試合目	3試合目	4試合目	5試合目	6試合目	4-1	0	0	0	1
② YASAMA	1試合目 9-11	2試合目 11-9	3試合目 11-9	4試合目 11-5	5試合目 6-11	6試合目 11-4	3-2	0	0	0	2
③ 江南サンデーズ	1試合目 7-11	2試合目 9-11	3試合目 11-4	4試合目 11-6	5試合目 11-3	6試合目 3-2	3-2	0	0	0	3
④ 片柳 SUM	1試合目 11-10	2試合目 5-11	3試合目 4-11	4試合目 11-1	5試合目 8-11	6試合目 2-3	2-3	0	0	0	5
⑤ アベニール	1試合目 7-11	2試合目 11-5	3試合目 6-11	4試合目 1-11	5試合目 7-11	6試合目 1-4	1-4	0	0	0	6
⑥ さくらTS	1試合目 5-11	2試合目 4-11	3試合目 3-11	4試合目 11-8	5試合目 11-7	6試合目 2-3	2-3	0	0	0	4



▲3位 中村孝 宮城修一 松井隆典



▲2位 柳澤佳 益子正 齊藤好友



▲1位 加藤賢治 市川重夫 加藤英男

第3ステージまで進出した男子6チーム



▲6位 市村喜美夫 森信介 藤沢昭次



▲5位 森輝雄 牛嶋英康 佐東眞吾



▲4位 岩田幸雄 富岡道雄 清水紀男



▲3位 佐々木久子 河野敏子 石川ひろ子



▲2位 清水恭子 森恵美子 松井恵



▲1位 井上まち子 大澤廣美 今泉君子

リーグ戦を戦った女子10チーム



▲4位 益子恭子 入野肇子 根岸照子



▲6位 堀内きみよ 黛松枝 坂本富美子



▲5位 中村敦子 吉田茂子 泉恵美子

▲7位 大野一恵 黒澤真理 柳沢正子



▲10位 関根嘉子 町田佐代子 宮谷よし子



▲9位 浅見マサ 清水千里 清水葉子



▲8位 高橋富美子 山中啓子 千島保子

熊谷市でペタンク大会

令和3年3月28日、通常であれば熊谷市ミックスダブルス大会を開催する予定でしたが、コロナ感染拡大防止対策により開催を見送り、熊谷市ペタンク・ブル連盟会員のみによる「スーパークミキ杯」が行われた。

試合毎にメンバーの組み合わせを替え、全5試合を行い、勝利数だけ箱ティッシュがもらえるということで、最高獲得が4箱だった。

毎試合、誰と組むのかわからないところが、「さきめき」があつて楽しむことができたと参加者は話していた。



Pick Up!

ペタンク探訪 No.7



今回の訪問先は、熊谷市さくら運動公園を練習拠点として活動している江南ペタンククラブです。



江南ペタンククラブ

旧江南町の体育委員や指導員の研修で川本ペタンククラブの方々に指導を受け、結構上手くできたなと感じた方が2004年に「江南ペタンククラブ」を立ち上げ、現在は当時のメンバー6名と新たに旧江南町以外から5名が加入し11名で活動しています。

宮城修一会長にクラブの事について聞いてみました。

「メンバーのほとんどが60歳を超えてきましたが、埼玉県内では平均年齢が若い方ではないでしょうか。 仕事をしているメンバーが多いので日曜日は熊谷さくら運動公園（主に午前中）で、平日は毎週木曜日に駒形公園の駐車場の照明の下で数名が集まって午後8時から午後11時頃まで練習しています。冬の時期、練習が終わって帰るときは、気温がマイナスになっている時もありますね。そんな練習での我慢強さや勝負強さが備わって、日本ペタンク選手権には埼玉県代表選手として、国際大会にも日本代表選手を輩出しています。



また、2013年、2015年、2016年に東日本ペタンク選手権大会で3回優勝できたことから、着実に実力をつけてきたなと感じました。」と語ってくれました。

11月に「江南オープンペタンク大会」3月に「熊谷市ミックスダブルス選手権大会」を開催し、関東近県から多くの選手が参加され、親しまれている大会になっています。

他のメンバーにも伺ったところ、「午前ペタンクして昼食に煮ぼうとうを食べ、大河ドラマ「青天を衝け」の舞台となっている渋沢栄一の「論語の里」を散策するペタンク大会を熊谷市ペタンク・ブル連盟に所属しているル・セルクルと合同で開催し親睦を図っています。」と話してくれました。



最後にクラブの今後の夢は？と聞いてみました。

「クラブのメンバーを増やし、みんなで宝くじを当てクラブハウスを建て実力をつけ、ワイワイ楽しいペタンクをやりたい」ということだそうです。

夜練習には益子も参加していますが、厳しい状況でもイメージどおりの投球ができるよう鍛えられているように感じました。夢の実現に向け頑張ってくださいね。

取材に協力頂きありがとうございました。

取材 益子正広 報部員